

< Vol.31 の記事 >

各コースの近況です！

総会結果速報 ~今年度中にNPO法人申請~

【広場 雨空にも負けず、元気に開催中！】

今年度のサッカー広場は、少し天気恵まれていません。小雨模様の日もたびたびあり、みんなが風邪をひかないか心配になる時もありますが、元気に楽しみでくれる子ども達がいますし、駒場サブはぬかるむこともないすばらしい環境なので、簡単には中止にしないことにしています。

最近のメニューではちょっと物足りない・・・なんて考えているお友だちもいるかもしれないと、コーチ陣は、毎週広場の後は、夜遅くまで相談を重ねています。皆さんからも、よい考えがあったらぜひ紹介してください。



【ジュニアユース 代表決定リーグ健闘！】

会員主体の運営になって3年ぶり、最初に入った中学生達が3年生になり、春の大会、6月の高円宮とも2次リーグに進出するようになりました。

中体連と顔をあわせる県本大会への出場権をかけた代表決定リーグでは、惜しくも0勝4敗を喫しましたが、川越FC戦での三谷君の空気を切り裂くような弾丸シュート、大宮アルディージャ戦の後半反撃ののろしとなる渡辺君の得点など、1・2年生も交えながら、強豪相手になかなかの試合を演じました。1・2年生はどうしても体力的に他チームの3年生に押されぎみでしたが、3年生はけっして技術的にも劣っていたとは思えませんでした。

【ユース順調に増加！ 夏のリーグ戦に突入】

春の大会は人数ギリギリで乗り切ったユースチー

ムでしたが、金子監督、熊谷コーチの指導のもと6月、7月と新入会希望者も続き、現在、25名程度になりました。

練習にも熱が入りはじめ、じょじょにチームとしての関係ができてきました。1・2年生が多く若いチームですので、今後が楽しみな状況です。

まだまだ体力不足で、この夏の関東ユースリーグは大変な戦いになると思いますが、将来にむけた良い経験になることと思います。

【選手 好調！ 昇格争い激化！】

昨年、天皇杯予選（県南部選手権）4位、市民体育大会ベスト8と、トーナメントではまずまずの成績を収めながら、リーグ戦では不調が続き7位と2部降格してしまった選手コースですが、今年度は出足こそややもたついたものの、その後持ち直し、現在、リーグ戦では3勝1敗1分、ブロックリーグでは3勝1敗と、好順位につけています。

残り2部チーム2戦、ブロック1部リーグチーム1戦ですが、この結果次第では1部復帰とともに県3部入れ替え戦への出場権を手に入れる可能性もあります。

残り3戦、他コースの会員の方もぜひ応援に！

ただ・・・選手コースの皆さん、新メンバーも入ってきていますし、週末の練習にもっと顔を出してください～い^^

【けやき 試合時の人数不足、解消か?!】

シニアチームとのメンバーの分離を図ったことからシーズン当初は人数がギリギリで、時には9人で戦った試合もありましたが、ここにきて石井主将が体調不良から復帰！新会員の加入もありじょじょに充実してきました。

現在、5戦を追って3勝2敗とまずまずの成績です。

生涯コースとしては、全員参加が基本的な考え方ですので、チーム内でも力の差は大きいものがありますが、お互いうまくカバーしながら、試合をこなしています。

ただ、試合をするにも、やはりお互いに分かり合

わないとやりづらいですから、特に、比較的新しい会員の方は、ふだんの練習にももっと参加されて、積極的に交流を深めていってください。

【シニア 大物ストライカー移籍獲得?!】

得点力不足に悩むシニアチームが大物ストライカーを獲得しました。本年、めでたく35歳の壁を越えた小野寺君が7月よりシニアリーグに参戦し、点をとりにまわっています。

新戦力を得て活気づくシニアチームですが、ついに7月27日昨年勝っている桜木FCに0 - 4という久々の大敗を喫してしまいました。

残り3試合にむけて頑張って練習をしましょう!

【グランドシニア 一番人数が必要なのに・・・】

40歳以上で構成されるグランドシニアリーグですが、1敗1分と未勝利です。人数がきついことが多く苦しい試合が続いています。

生涯チームの皆さん、はやく40歳になりましょう!

【定例総会の結果報告】

7月27日15時から駒場体育館会議室において2003年度定例総会が開催されました(正会員61名(青少年会員除く)のうち17名の出席、委任状25名で総会は成立しています)。

2002年度事業報告

昨年度から開始したサッカー広場からシニアの活動についてそれぞれ担当コーチから報告があり、承認されました。

2002年度決算報告

2002年度決算報告が承認されました。

広場の人数が計画よりもかなり上回ったことが主な原因となり、収入・支出とも予算よりも5%増程度となりましたが、概ね予算内におさまり、およそ30万円を繰り越すことができました。会員自主運営に組織変更をしてから3年目にして初の単年度黒字を達成しました。

理事からの意見として、広場～生涯までコースごとにある程度収支状況などがわかる資料があると良いというご指摘がありました。用具や事務経費、車両維持費など共通の部分もかなりあることから正確な割り振りは難しいものの、ある程度の目安としての収支構造についてはわかりやすくしていくことが求められているものと思われ、報告資料などにおける改善点として今後活かしていくこととしたいと思います。

役員・理事改選

役員・理事の改選時期でしたが、これまで理事をご担当いただいた篠崎さん、田中さん、佐藤さん、長嶺さん、大橋さんが、それぞれお仕事やご自身の活動の関係で退任されることとなりました。新たにシニアコースの金子文明さん、土橋則久さん、生涯コースの石井亮二さん、選手コースの伊沢浩助さんが理事に就任されることとなりました。

2003年度事業計画

地域スポーツの普及と振興を目指すNPOとして2004年度当初法人登録を目指して、今年中に申請を行う予定であることが報告されました。そのため理事長指名により検討会議を設置し今後数ヶ月でNPO法人としての新たな組織体制などを検討していくこととなりました。

現在の活動の課題としては、JYの会員獲得、一般会員の会費(高額である)全体として安定した活動場所の確保、JY・Yの移動のためのバスの入手などがあげられました。新井副会長からマイクロバスについて善処する考えがあることが報告されました。

また、スポーツクラブとして、サッカー以外の活動への展開については、サッカー会員との会費のバランスなどを考えながら、NPO法人を目指す新体制の中で他組織との連携方法などを模索していくこととなりました。

具体的には、陸上クラブを始めたいという意見が出されました。

2003年度予算計画

2003年度予算計画について報告があり承認されました。

その他

ジュニアユースの会員確保が大きな課題として提起されました。小学生向けのスクールの開講、少年団との連携の強化、浦和SCの存在自体のPRの強化が必要であることなどが意見としてあげられました。

また、来年には、現在のクラブカーが排ガス規制で使用できなくなる可能性があることから、そのための対応も考えていかなければいけない課題としてあげられました。

浦和SCニュースは、クラブ内の情報交換を図ることを目指して発行していますが、外部へのPRにもどんどん利用してください。必要があれば部数をお送りします。事務局までご連絡ください。

HPでは、ニュースをカラー配信しています。